

寄居中学校の目指す「学び合い」

【寄居中教師の vision】 学び方を教えることのできる教師



【教師の役割】

- 教師は、学びをデザインする
- 教師は、グループの支援をする
 - ・余計なこと、後出し発言はしません。
 - ・学びのつまづきを支援します。
 - ・教師は、とことん聴きます
 - ・どんな発言も拾い、最後まで聴きます。
- 教師は、とことんつなぎます。

(生徒と生徒・教材・授業をつなぎます。答えは教えず、「隣に…」とつなぎます。「他には?」「なぜ?」「どうして?」「なんで?」と思考を継続させます。)

※作法2では、やり方を言葉で説明させます。

※作法3では、「大丈夫?」と聞くと「(分かっていないけど) うん。」と言ってしまう生徒がいるので、「どこまでできた?」という視点をもたせます。

【生徒の学び方 学びの作法】

作法1…こまったな～、仲間にきこう「教えて」と

作法2…きかしたら、自分のやり方伝えつつ、自分も仲間も「あ～そうか!」

作法3…君の仲間が困ってる、「大丈夫?」「いつでもきいて」と、やさしい声かけ。



寄居中学び合いの流れ

学習形態

Step1 (めあて、目標等の提示)

個人

『めあて』を提示



Step2 (前時の復習等)

全体

前時の復習



Step3 (共有の学び)

グループ

本時の基礎課題

(基礎の問題をグループで共有する。
※学力低位の生徒でも学びが生まれる課題)

全体

全体で共有



Step4 (ジャンプの学び)

グループ

発展の課題

より高い課題 (※成績上位の生徒の思考力・判断力・表現力をフル活用させる問題)

全体

全体で共有



Step5 (まとめ)

個人

まとめ

本時の課題を定着させる